

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

いちごオフィスリート投資法人（証券コード:8975）

【据置】

長期発行体格付	A+
格付の見通し	安定的
債券格付	A+

■格付事由

- (1) いちごをスポンサーとするオフィス特化型の J-REIT。いちご投資顧問が本投資法人の資産運用業務を担う。現行ポートフォリオは全 83 物件（オフィス 81 物件、その他（商業施設等）2 物件）、取得価格総額 2,156 億円の資産規模であり、都心 6 区及びその他首都圏に所在する中規模オフィスを主体に構成されている。
- (2) 26/4 期以降、老朽化に伴う修繕負担の増加や収益成長余地の限定など収益性に懸念のあった「いちご半蔵門ビル」をはじめとする複数物件を、鑑定評価額を大きく上回る価格で売却する一方、「いちご立川公園通りビル」、「いちご船橋ビル」の 2 物件を取得するなど、資産入替によるポートフォリオの質的改善を進めている。賃貸事業運営も 26/4 期は賃料増額率が入替時で平均 27.2%、改定時も平均 12.3%と、好調なオフィスマーケットを背景に賃料の大幅な増額基調を確認できる。本投資法人は中規模オフィスを中心としたポートフォリオ構成であり、物件やテナントの分散が図られている点を考慮すれば、引き続き安定した賃貸運営は可能と考えている。また、レバレッジコントロールや資金調達などの状況からみて、財務の健全性が維持されている。以上より、格付を据え置き、見通しを安定的とした。
- (3) 外部成長では、東京都内、福岡市を中心に約 800 億円（26 年 2 月末時点）のスポンサーパイプラインが積み上がっており、資産入替を通じて得られた資金を含め、資本コストに見合う優良な中規模オフィスへの再投資が進展していくか引き続き注目している。内部成長では、スポンサーの「心築」機能を活用した取り組みを背景に、26/4 期の NOI 利回り 5.3%、稼働率 97.3%と良好な水準を維持している。セットアップオフィスの設置や共用部リニューアル等の心築 CAPEX に加え、賃料ギャップが 10%以上存在する契約更改が今後多数見込まれることから、引き続き賃料収入のアップサイドの取り込みが期待される。一方、保有物件には築古のものが相応に含まれることから、経年対応に伴う修繕・設備更新コストの負担状況がポイントとみている。
- (4) 資産総額ベースの簿価 LTV は 26/4 期末時点で 51.6%とやや上昇傾向にある。財務バッファーとなるポートフォリオの含み益は、26/4 期末で 677 億円（含み益率：30.6%）を確保している。三井住友銀行をはじめメガバンクを中心としたレンダーフォーメーションを維持していることに加え、返済期限の分散化も図られており、資金調達面での特段の懸念点はないと JCR ではみている。

（担当）秋山 高範・古口 雄介

■格付対象

発行体：いちごオフィスリート投資法人

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A+	安定的

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第 1 回無担保投資法人債（特定投資法人債間限定同順位特約付）	12 億円	2017 年 9 月 22 日	2027 年 9 月 22 日	0.900%	A+
第 2 回無担保投資法人債（特定投資法人債間限定同順位特約付）	10 億円	2018 年 4 月 26 日	2028 年 4 月 26 日	0.900%	A+

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第4回無担保投資法人債（特定投資法人債間限定同順位特約付）	12億円	2019年7月26日	2029年7月26日	0.890%	A+
第6回無担保投資法人債（特定投資法人債間限定同順位特約付）	15億円	2021年5月6日	2031年5月2日	0.850%	A+

格付提供方針等に基づくその他開示事項

- 信用格付を付与した年月日：2026年10月2日
- 信用格付の付与について代表して責任を有する者：秋山 高範
主任格付アナリスト：秋山 高範
- 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014年1月6日）として掲載している。
- 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に、「J-REIT」（2017年7月3日）として掲載している。
- 格付関係者：
（発行体・債務者等） いちごオフィスリート投資法人
- 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
- 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
・格付関係者が提供した監査済財務諸表
・格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
- 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
- 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
- JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であると問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であると問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/en/>）に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル